

大野 正英ゼミナール【経済-14 クラス】

【**題目**】現代社会の諸問題を倫理的視点から読み解く

【**到達目標**】現代の社会に起きている諸問題について、その表層的なできごとばかりではなく、その背景、倫理的意味等にまで深く踏み込んで考察できる力を修得する。同時にそれらの問題について多面的な見方ができ、その上で自分なりの視点に立った見解を発表できるようになる。

【**講義内容**】取り扱うテーマとしては、担当教員の専門である「経済と倫理」に関係のある分野を中心に考えているが、基本的には現代の経済社会に起きているあらゆる問題が対象範囲となる。すべての社会問題に倫理的要素が関連しており、価値判断の問題が常にそこに生じてくるからである。特に人間のために経済があるという視点を重視する。現代の問題について鋭く切り込んでいる著作を読むことで、問題について深くかつ多面的にみる力を身に着けるようにしたい。

【**授業計画**】

- 第1回 オリエンテーション
- 第2回 テキストを用いた発表と討論
- 第3回 テキストを用いた発表と討論
- 第4回 テキストを用いた発表と討論
- 第5回 テキストを用いた発表と討論
- 第6回 テキストを用いた発表と討論
- 第7回 テキストを用いた発表と討論
- 第8回 テキストを用いた発表と討論
- 第9回 テキストを用いた発表と討論
- 第10回 テキストを用いた発表と討論
- 第11回 テキストを用いた発表と討論
- 第12回 テキストを用いた発表と討論
- 第13回 テキストを用いた発表と討論
- 第14回 テキストを用いた発表と討論
- 第15回 テキストを用いた発表と討論

【**身に付くように意識している汎用的能力**】

知的な好奇心	◎
本質を理解する力	◎
論理的に考える力	◎
多様性を理解する力	◎
チームワークよく成し遂げる力	◎
様々な人と対話する力	◎
他者の立場と痛みを感じる力	○
意志や情報を発信する力	○
自ら行動する力	○
自己を受け止める力	○
自己反省する力	○
自信を生み出す力	◎

【**教科書**】使用するテキストについては授業中に指示する

【**参考文献**】適宜授業中に指示する

【**評価方法**】出席状況、発表内容、授業への参加姿勢、課題提出等による総合評価

【**履修の条件**】なし

【**聴講生・科目等履修生受入**】否

【**他学科生・他専攻生受入**】可

【**他学部生受入**】否

【**当該科目に関連する開設科目**】経済倫理 A・B

【**使用言語**】日本語